

<H24-No21 : 地図編集 : 問題>

図 21 は、電子国土ポータルとして国土地理院が提供している図 (一部改変) である。次の文は、この図に表現されている内容について述べたものである。明らかに間違っているものはどれか。次の中から選べ。

なお、関数の数値が必要な場合は、巻末の関数表を使用すること。

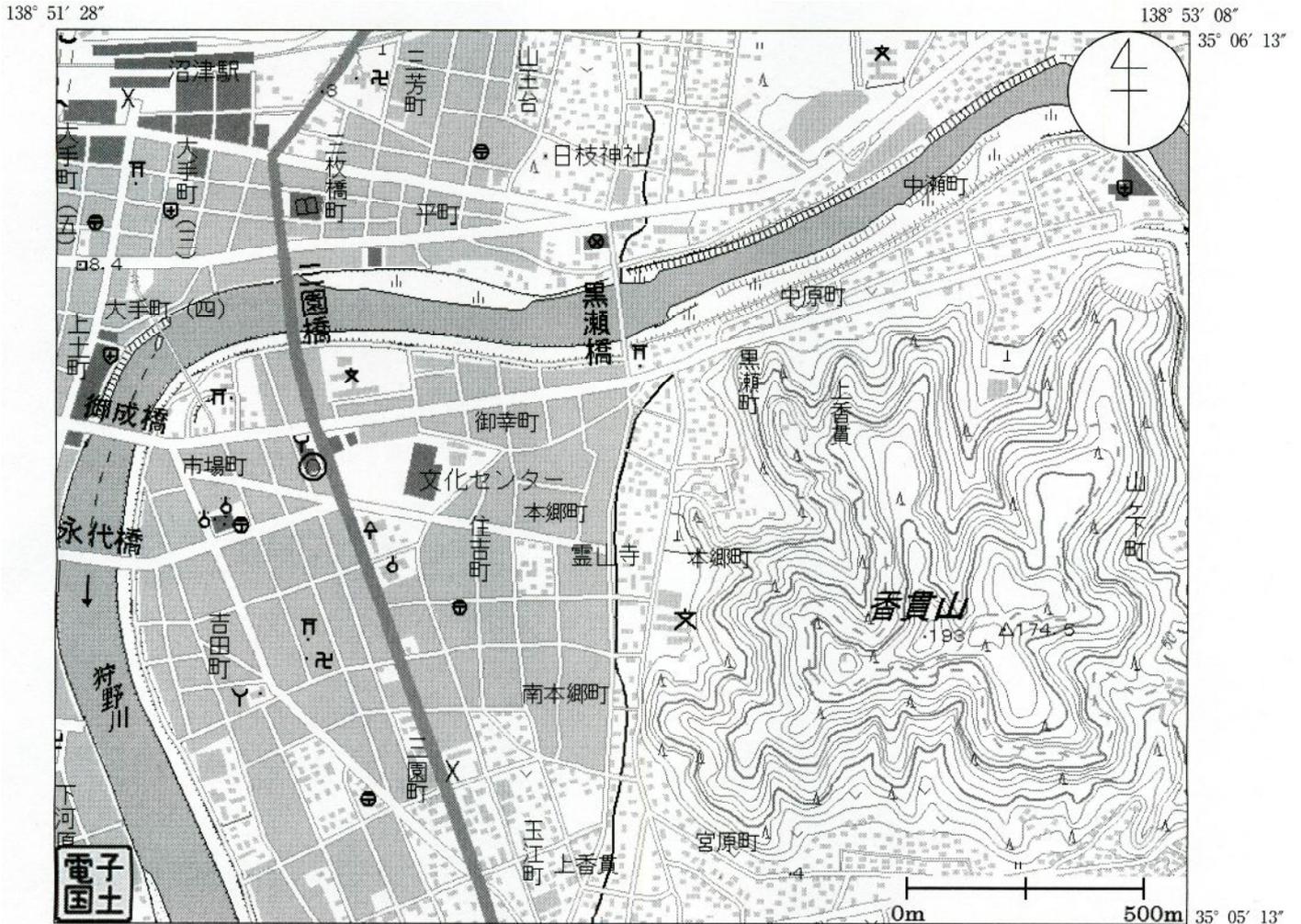
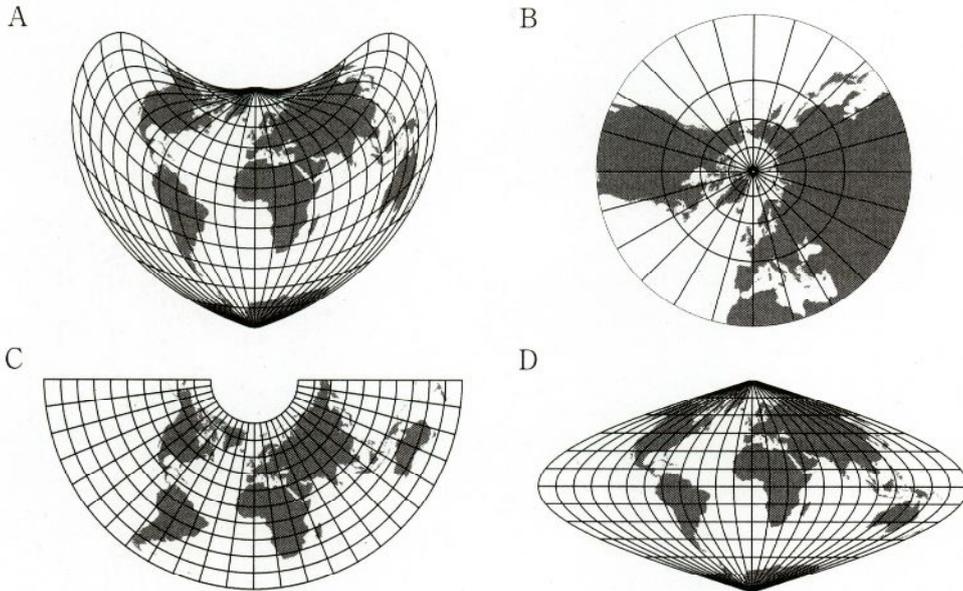


図 21

1. 大手町の郵便局と市役所の標高差は、10m以内である。
2. 三芳町の寺院の緯度と、黒瀬橋近くの神社の緯度の差は、およそ $19''$ である。
3. 香貫山の頂上と宮原町にある 4m の標高点の 2 地点を結んだ傾斜角は、およそ 25° である。
4. 香貫山上の 174.5m の三角点から、吉田町にある消防署は視通できない。
5. 大手町の神社から日枝神社までの水平距離は、およそ 880m である。

<H24-No22 : 地図編集 : 問題>

次のア～エは、以下のA～Dの図法を説明したものである。A～Dのなかで、正積図法である組合せはどれか。次の中から選べ。



- ア. Aはボンヌ図法である。中央経線が正距の直線、緯線が等間隔の同心円弧で、すべての緯線上で正距となるように曲線の経線が投影される図法である。
- イ. Bは心射方位図法である。地球上の任意の2地点間の大圏航路が、直線として投影される。
- ウ. Cは正距円錐図法である。緯線は円錐の頂を中心とする同心円弧であり、経線は円錐の頂から放射する直線になる。
- エ. Dはサンソン図法である。中央経線と、これに直交する直線で表した全ての緯線上で正距となる図法である。

1. A, B
2. A, D
3. B, C
4. A, C, D
5. B, C, D

<H24-No23 : 地図編集 : 問題>

次の文は、基盤地図情報について述べたものである。明らかに間違っているものはどれか。次の中から選べ。

1. 基盤地図情報の標高点として、1 m メッシュの数値標高モデル (DEM) のデータが提供されている。
2. 基盤地図情報に係る項目には、道路縁、水涯線、建築物の外周線が含まれる。
3. 地理空間情報活用推進基本法 (平成 19 年法律第 63 号) において、基盤地図情報は電子地図上における地理空間情報の位置を定めるための基準とされている。
4. 都市計画区域内の基盤地図情報の平面位置の誤差は 2.5 m 以内、高さの誤差は 1.0 m 以内である。
5. 国土地理院の基盤地図情報を使用して公共測量を行う場合は、インターネット上で使用承認の申請を行うことができる。

<H24-No24 : 地図編集 : 問題>

次の文は、地理情報標準について述べたものである。[ア] ～ [エ] に入る語句の組合せとして最も適当なものはどれか。次の中から選べ。

地理情報システムで使用する地理空間情報は、空間上の特定の地点又は区域の位置を示す情報と、それに関連付けられた情報からなるものである。これらの地理空間情報を表すデータの [ア] を確保するためには、データの設計方法や [イ] の考え方など、共通に守るべきルールが必要であり、そのルールを規定しているのが地理情報標準である。地理情報標準に準拠した [ウ] は、データ作成時には発注書として、データ交換時には説明書として使用することができる。

[エ] は、地理情報標準に準拠した JPGIS に基づいて提供しており、それらは GML 形式を含む 2 種類の XML 形式で、国土地理院のホームページからダウンロードすることができる。

	ア	イ	ウ	エ
1.	互換性	品質	応用スキーマ	メタデータ
2.	精度	品質	応用スキーマ	基盤地図情報
3.	互換性	積算	製品仕様書	メタデータ
4.	精度	積算	応用スキーマ	基盤地図情報
5.	互換性	品質	製品仕様書	基盤地図情報